

サケ科魚類遡上効果のモニタリング検討（資料2）

サケ科魚類遡上等のモニタリングについて（案）

1 モニタリングの目的

河川工作物の改良前後におけるサケ科魚類の遡上状況、河床変化等を把握し、河川工作物の改良効果を総合的に検証することを目的とする。

2 調査項目

（1）遡上率把握のための調査

遡上匹数

（2）産卵状況把握のための調査

産卵床数

（3）河床変化把握のための調査

ア 縦横断測量及び定点写真撮影

河川形状の変化把握

イ 礫構成

礫構成の変化を把握（横断線上）

ウ 流速

流速の変化把握（改良工作物の上下流及び改良工作物内（通水部））

エ 流量

河床変化との関係把握

3 河川工作物改良の成否判断

河川工作物の改良の成否は、改良前後における対象サケ科魚類の遡上率（河川工作物直上遡上数/河川工作物直下遡上数）に基づき専門家の意見を踏まえて判断（産卵床数も参考）する。